

様式1 平成25年度「岐阜県ふるさと教育表彰」実践報告書

市町村名	中津川市	学校名	中津川市立坂下小学校			
校長名	松井 紀史朗	対象学年	1年～6年	人数	223名	
活動名	ふるさと坂下		時間数	180時間	継続年数	3年
題材	① 自然環境（山野・河川・動物・植物・その他）[川上川の生き物の生態、上井用水を知る] ② 歴史（出来事・史跡・先人・その他）[坂下出身の方に戦時中の話を聞く] ③ 文化（芸能・芸術・民話・風習・その他） [坂下昔話読み聞かせ、花馬祭りの花串作り、坂下郷土かるたを学ぶ、中津川市郷土かるたを学ぶ] ④ 地場産業（農業・水産業・伝統工芸・その他）[餅米作りから食を学ぶ] ⑤ 絆を深め、よりよいふるさとをつくる活動 [ぶどう作り、地域のお年寄りや乳幼児とふれあう活動、地域の方に墨絵を学ぶ、地域の高校生との交流]					
複数年継続するための工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の講師を積極的に活用している。 ・授業ごとに学習の振り返りとして地域講師へのお礼の手紙を書く活動を位置付けている。このことにより、講師や団体とのつながりが持続している。 ・総合的な学習の時間を中心に学習を進めている。（テーマ 3年郷土 4年環境 5年産業・健康 6年福祉）その他、1・2年については生活科や学校行事との関連、3年生以上は社会科や理科との関連を進めることにより、授業時数の確保に努めている。 					
<p>1 ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂下の生活や自然、環境について自ら課題を見つけ、調べたり、体験したり、まとめたりする活動を通して、地域のもつ魅力に気付き、ふるさと坂下を愛する心を育てる。 ・米作りや餅つき等の体験活動を地域の方や仲間と共に行うことを通して、坂下の産業や自然、食についての理解を深め、ふるさとへの愛着心を育てる。 ・お年寄りや乳幼児等、地域の方々と積極的に交流することにより、坂下地区における福祉の実際について関心を高め、課題について自分の考えをもち表現することを通して、将来地域の人々のために活躍しようとする意欲を育てる。 <p>2 活動の概要</p> <p>(1)「郷土」に関わる学習について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋に行われる坂下の伝統行事「花馬祭り」（県重要無形民俗文化財）や地域に伝わるかるたの内容について、主に2年生、3年生が学習している。 <p>〈テーマ〉「坂下のいいところを伝えよう」 〈学習活動〉（「花馬祭り」の学習）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①【課題の設定】 毎年地域で行われる「花馬祭り」に関心をもち、調べたいことを明らかにする。 ②【情報の収集】 保護者や地域の方から必要な情報をインタビューしたり資料を収集したりする。 ③【整理・分析】 花馬保存会の方の話を保護者と共に聞き、調べた内容を整理する。花串作りをする。 ④【まとめ・表現】 気付いたことや自分の考えをまとめ、手紙等の形で書き表す。花馬祭りに参加する。 <p>〈児童の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元住民から寄贈されたわらの花馬に、保存会の方の協力を得ながら花串をさし、7色の花飾りの意味や祭りの歴史について深く学ぶことができた。 ・授業後、該当学年のほとんどの児童が保護者と共に10月13日の「花馬祭り」に参加した。 ・「花馬祭り」で学んだことを、坂下郷土かるたの学習につなげ、地域の方が坂下の伝統を守っていこうとする願いを十分捉えることができた。 						



(2) 「福祉」に関わる学習について

- ・6年生は地域のお年寄りや乳幼児とふれあう活動、福祉を専門とする高校生から学ぶ活動を、総合的な学習の時間を使って継続的に行っている。

〈テーマ〉 地域の方々との関わりを求めて 〈学習活動〉 (「老人会との交流」の学習)

- ①【課題の設定】 身近な方や地域のお年寄りに目を向け、坂下地区の実態をつかむ。
- ②【情報の収集】 お年寄りに聞いてみたいことを個々で書き出し、グループで出し合う。
- ③【整理・分析】 フォークダンスやお話会等を通して、お年寄りと交流する。
- ④【まとめ・表現】 気付いたことや自分の考えなどをまとめ、手紙等の形で書き表す。

〈児童の様子〉

- ・今までフォークダンスを踊ったことなどなく、最初はとても緊張していた。しかし、ペアが決まり輪になり、講師の先生の指導の下で老人クラブの方々と手を取り合い踊っていくうちに笑顔いっぱいになった。最後のポーズは自分たちで工夫し、音楽と共にポーズが決まると、老人クラブの方と一緒に大きな歓声をあげていた。
- ・フォークダンスの後のお茶会では、自分たちで作った芋きんとんをふるまい、積極的に談笑する姿が見られた。趣味の話や日常の話題などで盛り上がったグループもあった。
- ・最後はステージを使って、リコーダー演奏とソーラン節を披露した。
「楽しいと言ってくれて嬉しいよ。」「ソーラン節は迫力があってよかったよ。」「みんなからパワーをもらったよ。」など、多くの方に喜んでいただき、児童は「また、一緒に踊りたい。」と感想を述べていた。



3 地域住民との関わり、地域社会への貢献の様子

- ・坂下地区の地域講師を招聘し、複数回指導を受けることにより、児童も職員も地域で活躍する人々とのつながりを深めている。
- ・11月3日「やさか教育のつどい」の日の公開授業では全学級、地域講師を活用した授業を行っている。学習したことや体験したことをもとに自分たちが考えたことを発表し、それに対する地域講師からの感想を直接聞くことにより、ものの見方や考え方を広げたり深めたりする機会としている。また、学校のHPや学校便り、地域の新聞等で地域住民に取組の様子や成果を発信している。

4 活動による児童生徒の変容(伸長・成長等)

- ・地域の行事(写生会、花馬祭り、歌舞伎公演会、公民館の図書館ボランティア、秋の敬老会等)に進んで参加するなど、地域と積極的に関わろうとする児童が多く見られるようになり、ふるさとを大切にす気持ちが増えてきている。
- ・人前で話したり活躍したりする機会が増え、本校児童の弱点である関わり合いの苦手さが徐々に克服されてきている。また、活動のよさを他から認められることにより、自信やたくましが少しずつ備わってきており、自ら主体的に動く姿勢ができつつある。

【児童の振り返りより】

今日、老人会の方とフォークダンスの交流会をしました。フォークダンスで老人会の方達と楽しく踊れて嬉しかったし、お茶会で「いもきんとん、おいしいね」と言っていたり、昔の暮らしについていろいろ聞けたので楽しい交流会になりました。